

農林水産省 食料生産地域再生のための先端技術展開事業
「被災地の早期復興に資する果樹生産・利用技術の実証研究」
平成28年度成果伝達会
「シャインマスカット盆前出荷による高収益ブドウ栽培を目指して」

1. 日時 平成28年8月17日（水） 10:00～16:00
2. 場所 宮城県農業・園芸総合研究所（〒981-1243 宮城県名取市高舘川上字東金剛寺1）
TEL：022-383-8132（当日連絡先：022-383-8118）
現地実証圃場（宮城県亶理郡山元町及び亶理町）
3. 主催 農林水産省 食料生産地域再生のための先端技術展開事業
地域再生（果樹生産）コンソーシアム^{注1)}
共催 同事業 新食料基地コンソーシアム^{注2)}
4. 日程（視察圃場及び伝達会会場への送迎用にバスを用意いたします。）

9:45	宮城県農業・園芸総合研究所出発 （自家用車でお越しの方は宮城農園研の駐車場に駐車の上、出発時刻までにご乗車下さい。）
10:00	JR 名取駅出発 （名取駅西口にバスが待機しております。電車の方は、出発時刻までにご乗車下さい。）
10:40-11:00	ブドウ根域制限栽培システム実証圃場視察（山元町）
11:15-11:35	加温ブドウ栽培実証圃場視察（亶理町）
12:10-12:30	宮城県農業・園芸総合研究所試験圃場視察（名取市）
12:40-13:20	昼食
13:20-13:25	挨拶
13:25-13:55	宮城県における栽培実証研究の成果について 宮城県農業・園芸総合研究所 柴田昌人
13:55-14:25	盆前出荷を狙った加温栽培について 島根県農業技術センター 安田雄治
14:25-14:45	休憩 ※島根県及び宮城県の加温栽培の「シャインマスカット」の試食
14:45-15:15	収穫期延長及び長期貯蔵技術について 山形県農業総合研究センター園芸試験場 明石秀也
15:15-15:45	「シャインマスカット」の減農薬防除体系 農研機構果樹茶業研究部門 新井朋徳
15:45-16:00	総合討議
16:00	閉会

（会議終了後、JR 名取駅までバスでお送りします。）

5. 参集範囲
生産者、生産者団体、行政・普及組織、研究機関、食品企業、外食産業、観光業、流通販売業、その他関心を持つ方
6. 定員
80名程度（先着順）

7. 参加費 無料

昼食を希望される方には、弁当（税込み 1,000 円）を準備しますので、参加申し込みと同時にご予約下さい（当日の弁当受付はできません）。

8. 参加申し込み

参加申込書（様式 1）により、平成 28 年 7 月 29 日（金）までに下記申込先宛てメールまたは FAX でお申し込みください。

【申込先】

宮城県農業・園芸総合研究所 園芸栽培部
〒981-1243 宮城県名取市高館川上字東金剛寺 1
FAX : 022-383-9907 (TEL : 022-383-8132)
e-mail : ukai-ma742@pref.miyagi.jp

備考

注 1) 地域再生（果樹生産）コンソーシアム

東日本大震災の被災地域を新たな食料生産地域として再生に向けて、先端的な農林水産技術を駆使した実証研究を実施するために結成したコンソーシアムです。先端的技術の現地実証を通じて果樹の栽培から流通・加工までの先進的な技術体系の構築を目指します。

代表機関	農研機構（果樹茶業研究部門）
構成員 （平成 28 年 4 月現在）	農研機構（果樹茶業研究部門、食品研究部門） 宮城県農業・園芸総合研究所 秋田県果樹試験場 山形県農業総合研究センター園芸試験場 茨城県工業技術センター 神奈川県農業技術センター 島根県農業技術センター 島根大学 田所食品株式会社 日本電気株式会社 GLO-berry Japan 株式会社 株式会社高島屋

注 2) 新食料基地コンソーシアム

先端技術の現地実証地区における農業経営や地域農業の現状を把握・分析し、実証研究で開発された技術を体系化し、導入する際の経営体単位及び地域農業単位での効果を明らかにするために結成したコンソーシアムです。

代表機関	農研機構（中央農業研究センター）
構成員 （平成 28 年 4 月現在）	農研機構（中央農業研究センター、東北農業研究センター） 宮城県農業・園芸総合研究所 宮城県水産技術総合センター 岩手県農業研究センター 岩手県水産技術センター 福島県農業総合センター 岩手県立大学 宮城大学 東京農業大学 株式会社三菱総合研究所